

(参考資料)

道路を賢く使う取組の実施に向けて

平成26年3月

過去に出された答申や提言の主な内容



社会資本整備審議会 中間答申（平成14年8月）

- 道路の機能分化と既存道路の有効活用
- 多様で弾力的な料金施策の導入
- ETC技術の活用などの道路の情報化の推進

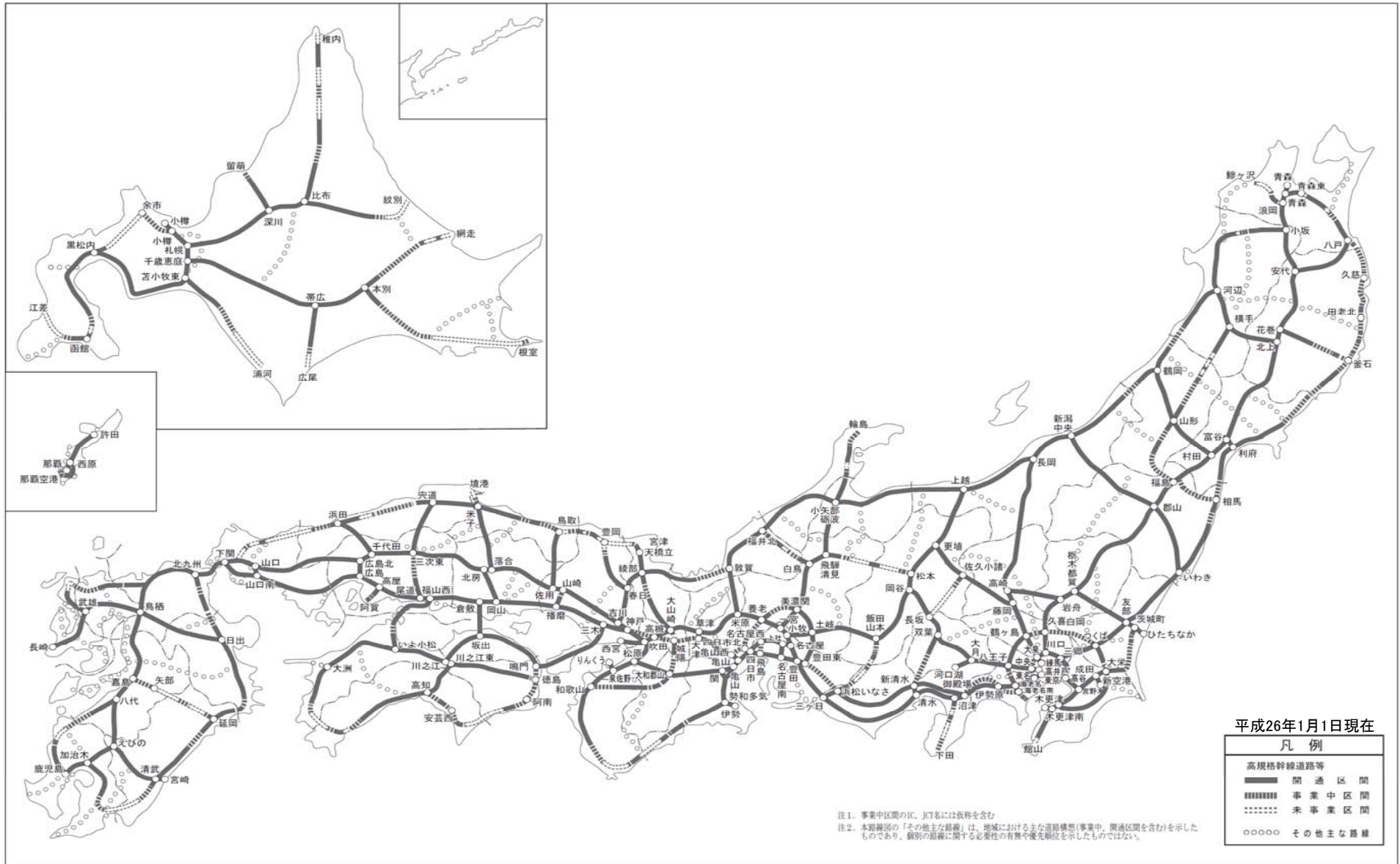


「使える」ハイウェイ推進会議 提言（平成17年2月）

- ネットワークの最適利用・機能向上
- 高速道路と一般道路を一体的に捉えた総合的な道路政策の実施
- 多様で弾力的な料金施策の実施
- ICの最適配置とアクセス強化

【参考資料2】

全国路線図

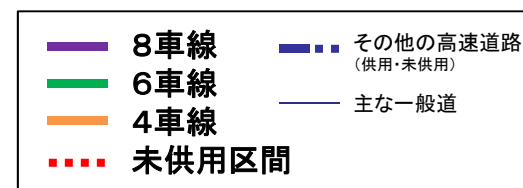
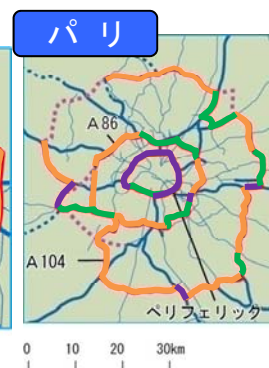


【参考資料3】

諸外国の主要都市における環状道路の状況

【最内側環状道路の延長及び平均半径】

都市名	延長 (平均半径)	規制速度	車線数
ロンドン	188km (29.9km)	113km/h	6車線 8車線
ワシントン DC	103km (16.4km)	89km/h	8車線
東京 (中央環状線)	47km (7.5km)	60km/h	4車線 6車線
パリ	35km (5.6km)	80km/h	6車線 8車線
北京	33km (5.3km)	80km/h	6車線
東京 (都心環状線)	15km (2.4km)	50km/h	4車線

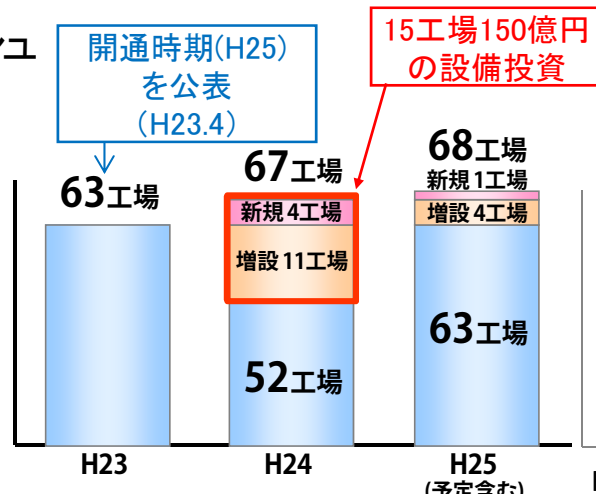
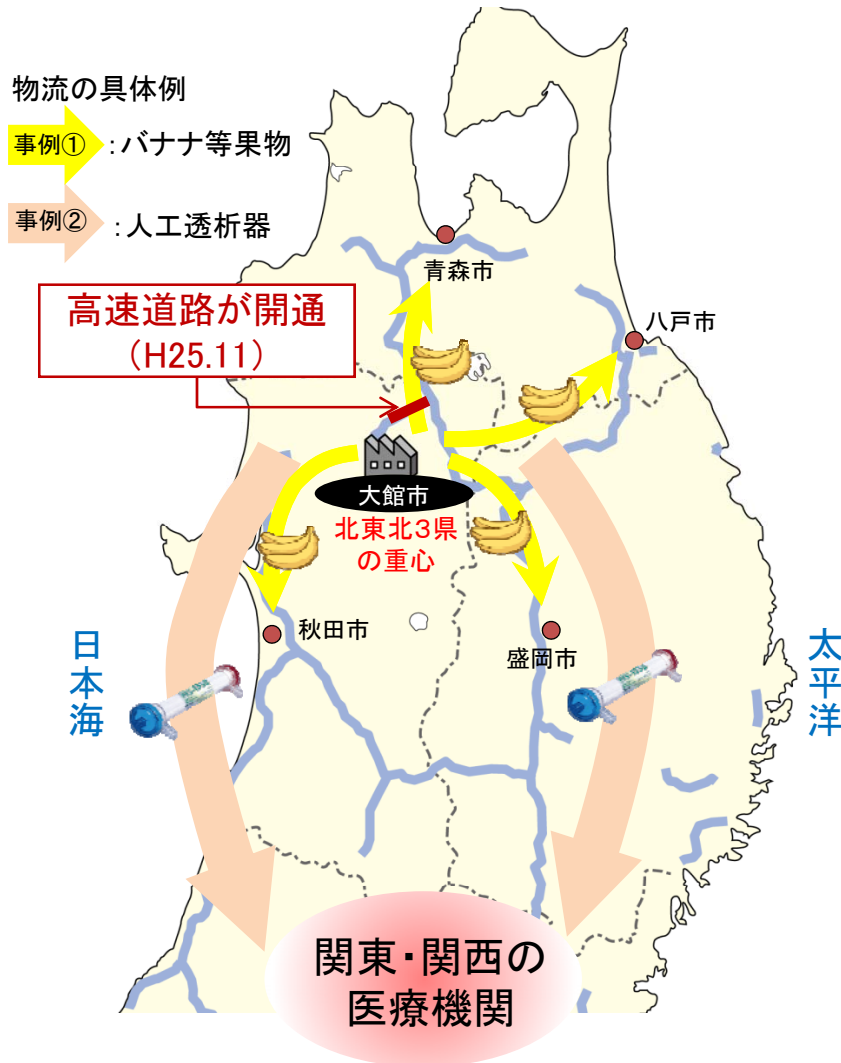


【参考資料4】

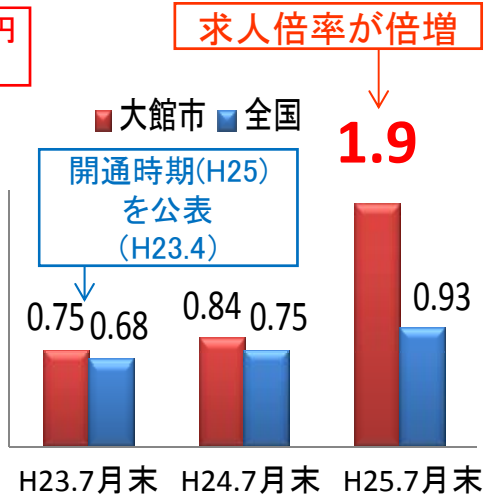
これまでの道路行政の実績 ～ネットワーク重心の企業立地ラッシュ～

○ネットワーク重心で発生している企業立地ラッシュ

大館市は青森市・盛岡市・秋田市につながる
高速道路ネットワークの重心に位置する

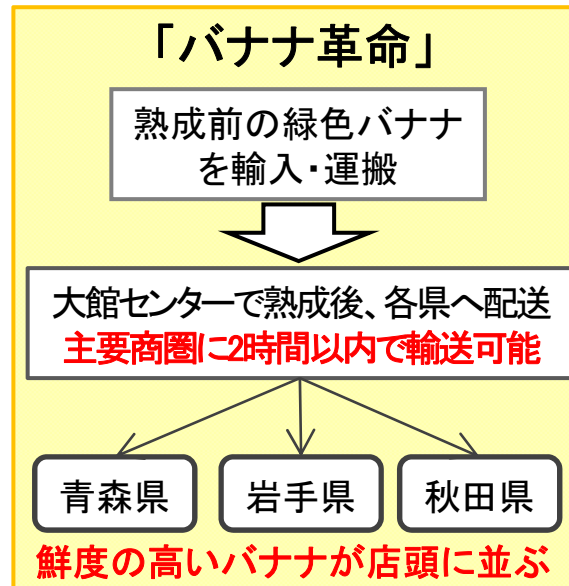


【大館市の主な工場数の推移】



【高卒者の求人倍率の推移】

事例①



事例②



これまでの道路行政の実績 ～環状道路周辺の物流拠点立地～

○環状道路整備の進展に伴い形成された「環状物流ベルト」の誕生

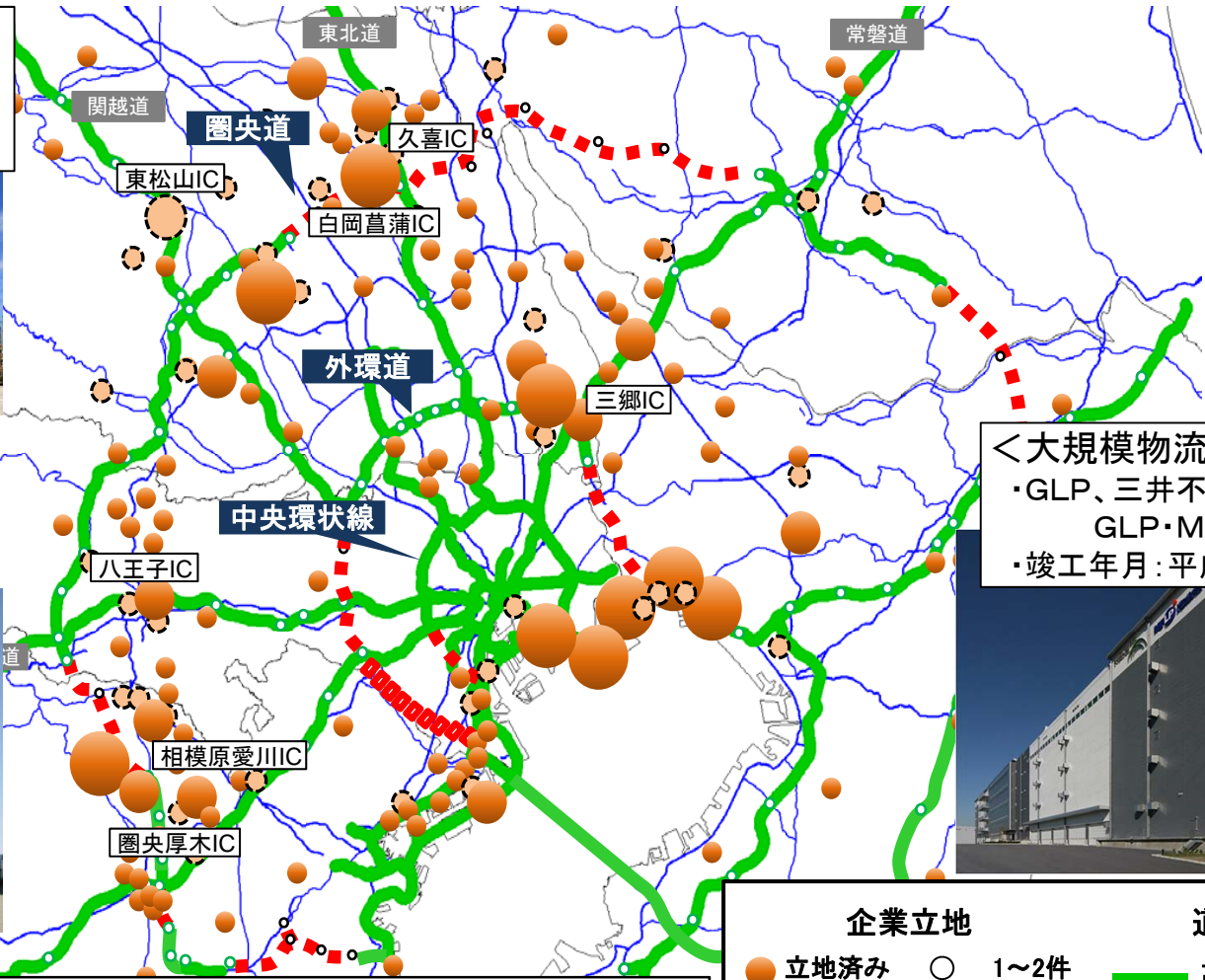
<大規模物流拠点の例>
 ・ラサール不動産投資顧問、
 三菱地所：ロジポート相模原
 ・竣工年月：平成25年8月



<大規模物流拠点の例>
 ・GLP：GLP厚木
 ・竣工年月：平成25年12月



<大規模物流拠点の例>
 ・GLP、三井不動産：
 GLP・MFLP市川塩浜
 ・竣工年月：平成26年1月



企業立地		道路	
● 立地済み	○ 1～2件	— 高速道路	— 高速道路事業中
○ 立地予定	○ 3～4件	--- 高速道路調査中	— 直轄国道
	○ 5件以上	— その他一般国道	

出典：AERA、CBREオフィスジャパン誌、カーゴニュース、月刊ロジスティクス・ビジネス、月刊激流、週刊東洋経済、千葉日報、朝日新聞、日刊工業新聞、日刊自動車新聞、日経MJ、日経ビジネス、日経産業新聞、日経新聞、物流ニッポン
 ※1 2011年8月～2013年11月の記事から首都圏への拠点立地に関わるものを整理
 ※2 立地済み・立地予定は2013年12月末時点 ※3 立地件数は、各拠点の立地住所をもとに近隣の拠点を集約して示している
 ※4 2013年12月末時点物流不動産各社HPも確認の上整理(プロロジス、日本プロロジスリート投資法人、GLP、GLP投資法人、ラサール不動産投資顧問、三菱地所、三井不動産、大和ハウス工業、大和ハウスリート投資法人、オリックス不動産、オリックス不動産投資法人、野村不動産、野村不動産投資顧問、野村不動産マスターファンド投資法人、産業ファンド投資法人及び日本ロジスティクスファンド投資法人)

戦略的な情報発信の実施

○“語れる数値”と“メッセージ”の組合せによる戦略的な発信

鉄道

■ 東海道新幹線の運行

1日約**300本**の列車が最大**3分間隔**で運行し、遅れは平均約**30秒**

※1日に上下合計で323本、自然災害も含んだ1列車あたりの年間平均遅延時分は0.6分(2010年度)

航空

■ 羽田空港の年間発着回数

2012年の羽田空港の発着回数は年間**39万回**

※2012年は年間391千回で世界第24位


道路

■ 環状道路の整備

3環状9放射 都心の通過交通**6割**

■ ETCの導入

高速道路渋滞の**3割**を占める料金所渋滞の解消

 世の中に一番伝わる数値とメッセージの準備